

6 小学校高学年用「^{かさ}笠のそば」 指導例

本資料は、そばの栽培を地域の産業として位置付け、現在も地域でそば店の営業を続ける桜井市笠地区の人々を取り上げている。

展開前段では、農地開発で手に入れた広い畑にそばを植え、乾麺を作って販売したり地域で協力してそばの店を出したりした笠の人々の思いや願いを考えることを通して、郷土を愛し大切にしようとする心情に共感させたい。また、展開後段では身近な自分たちの郷土について振り返り、自分たちの身の回りにも同じように地域を思い支えている人々がいることに気付かせるとともに、郷土の発展に貢献しようとする心情を高めたい。

- ◆ **主題名** 私たちのふるさと **指導内容** 高4－(7)
- 資料名** 笠のそば (奈良県郷土資料 奈良県教育委員会)

◆ **ねらい**

郷土を愛し、郷土の文化や伝統を築き上げてきた人々の努力や願いを知り、郷土を大切にしようとする心情を高める。

◆ **展開**

	学 習 活 動	主な発問と予想される児童の意識	指導上の留意点	備考
導 入	1、「ふるさと」について話し合う。	○ 「ふるさと」という言葉を聞くと、どんなことやものが思い浮かびますか。 ・生まれ育ったところ。 ・おじいちゃんやおばあちゃん。	・自由に意見を出し合わせ、本時のテーマにつなげるようにする。	
展 開	2、資料「笠のそば」を読んで話し合う。	○ 笠の人々は、どうしてそばを笠の名物にしようと思ったのでしょうか。 ・あまり手間をかけずに育てられる。 ・多くの人が笠を知ってくれる。 ・若い跡継ぎの人たちも育つ。 ○ そばの店を出そうと考えたのは、どんな気持ちからでしょう。 ・こんなおいしい笠のそばをもっと味わってほしい。 ・笠が有名になる。 ・たくさんの人が食べに来たら、もっともうかる。	・農地開発からそば栽培に至る経緯を押さえ、地区の悩みを抱えながらも、自分たちの郷土を守っていかうとする思いに気付かせる。 ・最初は売れなくて苦労したことや、いつも笠の人たちがみんなで協力してきたことなどから、笠の人々の粘り強い努力や連帯感、そばへの愛情、誇りなどを感じ取らせる。	補 助 写 真

展 開		<ul style="list-style-type: none"> ・食べた人が喜んでくれる。 ・笠のみんなで力を合わせてがんばりたい。 <p>◎ 笠の人たちが、「そばを始めて本当によかった」と言ったのはどんな思いからでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・笠にたくさんの人たちが来るようになってよかった。 ・みんなで頑張ったから、多くの人に来てくれるようになった。 ・みんなの働く場所が増えた。 ・大きくなったらそばを作りたいという子どもたちが出てきてうれしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで力を合わせてそばを始めたことで、多くの人笠を訪れ、地区が活気付いてきたことを押さえ、笠の人々の郷土への愛情や、みんなで郷土を大切に守ろうとしてきた思いに気付かせる。 ・ワークシートに記入させ、友達と意見交換することで、思いや考えを深めさせる。 	ワークシート
	3、「心のノート 小学校5・6年」104、105ページを開き、自分たちの郷土について考える。	<p>○ 自分たちの郷土では、どんなことやどんなものが大切にされてきているでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○古墳は多くの人を訪れ、地域の名所となっている。 ・自治会の人々が中心となって「夏祭り」を毎年行ってくれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「心のノート」を読んだり書き込んだりすることで、自分たちの郷土に目を向け、郷土を大切にしようとする心情を高めるようにする。 	「心のノート」
終 末	4、指導者の話を聞く。		<ul style="list-style-type: none"> ・郷土のために力を尽くしている人々の話などにより、郷土を大切にしようとする心情を温める。 	

※「心のノート」は、次のURLよりダウンロードできます。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/doutoku/index.htm